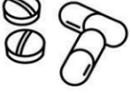


経過	入院日～	手術前日	手術当日		術後1～2日目	術後3日目以降	転院日	
			術前	術後				
月日	/	/	/		/	/～	/	
目標	熱が出ず、心臓や肺の働きが安定している 背中や腰に床ずれができない 折れた足が安静にできる 足が麻痺せず、足の指がよく動く		熱が出ず、心臓や肺の働きが安定している 手術のキズの痛みが次第に軽くなる キズが化膿しない 足の指がよく動く 背中や腰に床ずれができない 脱臼しない(人工骨頭の場合)		熱が出ず、心臓や肺の働きが安定している キズが化膿しない 転ばない 脱臼しない 車椅子に移れることが可能なことが転院時の最低限の目標です			
治療処置	・骨折した足の牽引(けんいん)をします(しないでもよい方もあります)	・排便がなければ排便を誘導します	・注射や点滴があります	・翌朝まで点滴です ・必要に応じて酸素マスクや鎮痛剤を使用します	・傷に管(ドレーン)が入れている場合はそれを抜きます。以後、傷が乾いたらガーゼをよめて透明フィルムを貼ります	 ・傷が治ったら抜糸をします 		
検査	・検査をします	・必要に応じて、検査があります			・採血があります	・採血やレントゲン撮影があります		
薬剤	・服用中の薬を確認します ・薬や食物などのアレルギーはお知らせください			・抗生物質を点滴で使用します 	・抗生物質の点滴があります ・必要に応じて痛み止めを開始します ・いつも飲んでいただお薬を順次、再開します ・深部静脈血栓予防の皮下注射、または内服を必要に応じて開始します		・退院時の処方が出ることがあります	
安静度	ベッド上です	ベッド上です	ベッド上です	ベッド上です	・ベッドの端に腰かけ、車椅子に乗る練習が始まります	歩く許可がない場合 ・車椅子を使います 	歩く許可がある場合 ・車椅子を使います ・慣れたら、病棟内でもできるだけ歩行器で歩きましょう 	
リハビリ	・必要に応じてリハビリを手術前から開始します				・ベッドサイドで訓練指導が始まります(筋力訓練など)	・リハビリ室で筋力の訓練などがあります	・リハビリ室で平行棒や歩行器、杖などを使って立ったり歩いたりする練習です 	
清潔	・体をふきます	・体をふきます			・体をふきます	・体を拭きます。可能の場合はシャワー浴をします		
排泄	・ベッド上です	・ベッド上です	・ベッド上です	・尿管がはいります	・尿管は抜きます ・排尿、排便はベッド上です 	・排尿、排便はベッド上ですが、車いすに乗ればトイレでもできます。慣れるまでは看護師についてもらいましょう		
食事	・普通の食事です	・夕食後は絶食となります	・絶飲食です	・腹鳴があれば飲水より開始します	・普通の食事です 	・普通の食事です		
説明など	・入院時の説明、検査や手術の説明などがあります	・転院先について希望があるときは早めにお知らせください		・手術結果の説明があります 	・車椅子の使用説明、トイレ使用指導などがあります	・いつから歩く練習を始めるかは、手術後に医師が判断し説明します ・転院先などの調整をします (ご希望は早めにお知らせください) 	・転院後の予定の説明があります(手術後2週間が転院の目安です)	
特別な栄養管理の必要性	<input type="checkbox"/> 有 栄養状態に合わせた栄養管理を行います <input type="checkbox"/> 無							

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めて行くにしたがって、変わり得るものです。
注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

地方独立行政法人 佐賀県立病院好生館 整形外科 主治医： <<ORDCT_S_M>> ㊞ 看護師： <<ORDCT_N_M>> ㊞

上記について説明を受けました。 平成 年 月 日

患者氏名： _____ ㊞ (印鑑がない場合は自署)

親族氏名： _____ ㊞ (患者本人が未成年または親族の同意が必要な場合に記入)